

医学・薬学を学ぶ人達へ

藤

對 五 勉 著 長崎学院

医学部長 原 田 康 夫

御入学おめでとうございます。

受験勉強という長い砂漠の時代から、皆さんはようやく緑の時代にさしかかっています。人生には節目というものが何度かありますが、今はその初めての節目であります。沢山ある学部の中なかでも医学部は一貫した職業教育を受けられる所で、習ったことが一生の仕事の基礎となる特殊な学部であります。学部に入るまでのこれからの2年間は、皆さんにとって自分の生涯を通じての感性と教養を養う時期でもあり、この時期により多くのものを学んだからこそ、人生の後半に豊かな生き方が出来るように思います。医学は科学ではありますが、人間の科学です。医療従事者は人の心、特に病める人の心をいやすことも大切であります。したがって、単に医学・薬学と医療技術だけを学ぶのではなく、優しい心を養う必要があります。それには今の時期から出来るだけ心を豊かにするような趣味をもつことが必要でしょう。どのようなものでも一生を通じて自分自身を高めるとともに慰められるものがよいと思います。特に医師は人間の生死に直接関与するだけに、力の及ばない寿命の問題に直面する時など、定め厳しさをいつまでも引きずることなく、気持ちを切り換えることも必要でありましょう。

今はまた国際化の時代です。医学・薬学の世界の情報をいち早く知るためにも、また知らせるためにも語学が必要です。せっかく受験で鍛えた英語が実用に供せられるように、

今後も努力することと、新たにもう一つくらいは外国語をマスターするための準備も必要でありましょう。これこそ放送のメディアが発達した今日、独学でも勉強することは出来ますが、一般教養課程で受けられるドイツ語、フランス語の勉強も大変役に立つものであります。これからは与えられたものを受容するというだけではなく、自ら学ぶという姿勢と、常に目標を掲げ、少しずつでもそれに近づくべく日々精進する態度が大切です。特に医学は積み上げの知識と技術の世界であります。継続して仕事をして行く粘りが大切で、そのためにも身体を鍛えておかなければなりません。

若いエネルギーを燃焼させるためのスポーツも何か手がけておくのもよいでしょう。いずれにせよこれからの一般教養課程をいかに有意義に過ごすかは皆さんの心がけにかかっています。

医学の進歩は目覚ましく、最近の大型医療機器の開発と発達により診断も治療も大きく変わって来ています。また日本における臓器移植もここ10年間で定着することになるでしょうし、そのための周辺医療の進歩も加速され急ピッチになっていくことでしょう。これから医学・薬学の道に進む皆さんは21世紀の医療の担い手として、大きな夢をいだいて、今のこの時を無駄なく過ごしてもらいたいものと思っています。